

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。



# アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに **Ⓐ** ボタンを 1 回押すと、アラームモードになります。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると 20 秒間の電子音で知らせます。また、毎正時 (00 分) に時報を鳴らすこともできます。

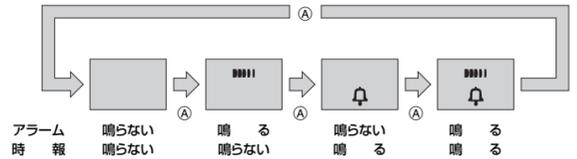
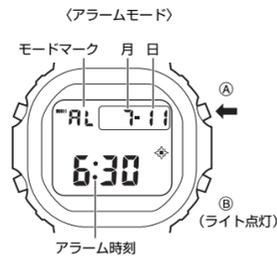
## ■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

**Ⓐ** ボタンを押します

→ **Ⓐ** ボタンを押すごとに以下の順でアラーム ON / OFF および時報 ON / OFF が切り替わります。

※ アラーム時刻をセットすると **RL** マークが点灯し、自動的にアラーム ON となります。  
(「**■**アラーム時刻のセット」参照)



## ■アラーム・時報の報知方法

### ●アラーム ON のとき

セットしたアラーム時刻になると、20 秒間電子音が鳴ります。

### ●時報 ON のとき

毎正時 (00 分) になると、「ピッピッ」と電子音が鳴ります。

※ このとき、いずれの場合でも、EL バックライト ON (点灯) にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



## ■鳴っている電子音を止めるには

アラーム (時報) 音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**Ⓐ** **Ⓚ** **Ⓝ** **Ⓞ** ボタンのうちいずれか 1 つを押します。

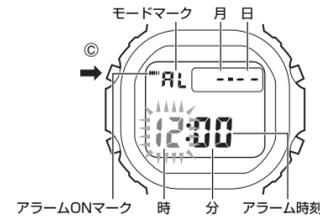
## ■アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

**Ⓝ** ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

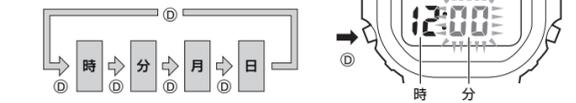
※ このとき **RL** が点灯し、アラーム ON となります。



(2) セット箇所を選ぶ

**Ⓞ** ボタンを押します

**Ⓞ** ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

**Ⓐ** ボタンを押します

→ **Ⓐ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が 1 つずつ進みます。  
※ 押し続けると早く進みます。



- 「時」のセットのとき、午前 / 午後 "PM" にご注意ください。
- 時刻を 24 時間制 "24H" にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。
- 「時・分」に加え「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。



(4) セット後、点滅を止めるには、

**Ⓝ** ボタンを押します

※ セット表示のまま 2 ~ 3 分経過すると自動的に点滅が止まります。

# タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに **Ⓐ** ボタンを 2 回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1 秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

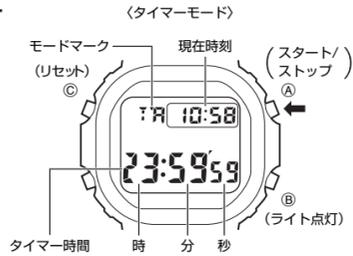
## ■タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

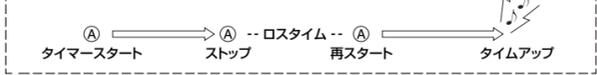
**Ⓐ** ボタンを押すごとに計測がスタート / ストップします

→ 減算計測は 1 秒単位で行ないます。

★ **Ⓝ** ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



★ロスタイムがあるときは  
減算計測中、**Ⓐ** ボタンでストップ後、もう一度 **Ⓐ** ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



## ■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間\* 電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。  
\* タイマー時間が 10 秒以下のとき、電子音が鳴るのは 1 秒間となります。

※ このとき、EL バックライト ON (点灯) にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



## ■タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

- **リピートタイマー (繰り返し計測)**  
タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。
- **オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) ("AUTO" 点灯)**  
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

### ★タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

**Ⓚ** ボタンを押します

→ **Ⓚ** ボタンを押すごとに "AUTO" が点灯 / 不点灯を繰り返します。  
"AUTO" が不点灯のときはリピートタイマー、"AUTO" が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。



## ■鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、タイマーモードのときに **Ⓐ** **Ⓚ** **Ⓝ** **Ⓞ** ボタンのうち、いずれか 1 つを押します。

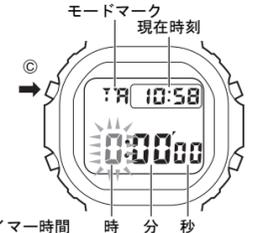
## ■タイマー時間のセット

タイマー時間は「1 秒 (0:00'01)」から「24 時間 (0:00'00)」まで、1 秒単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

**Ⓝ** ボタンを押します

→タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

**Ⓞ** ボタンを押します

**Ⓞ** ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

**Ⓐ** ボタンを押します

→ **Ⓐ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が 1 つずつ進みます。  
※ 押し続けると早く進みます。



★表示が点滅しているときに **Ⓚ** ボタンを押すと、タイマー方法 (リピートタイマー / オートリピートタイマー) が選べます。  
(詳しくは左記「**●**タイマー方法を選ぶ」参照)

(4) セット後、点滅を止めるには、

**Ⓝ** ボタンを押します

※ セット表示のまま 2 ~ 3 分経過すると自動的に点滅が止まります。



# ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに **Ⓐ** ボタンを 3 回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) まで計測でき、以後自動的に 0 に戻って計測し続けます。

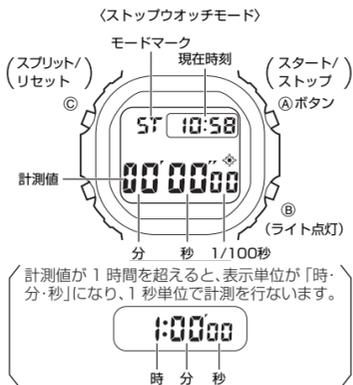
## ■計測のしかた

ストップウォッチモードのときに、

**Ⓐ** ボタンを押すごとに計測がスタート / ストップします

★計測中に **Ⓝ** ボタンを押すと、スプリット計測となります。もう一度 **Ⓝ** ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★計測終了後 **Ⓝ** ボタンを押すと計測値が 0 に戻ります。  
※ **Ⓐ**・**Ⓝ** ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



### ●通常計測

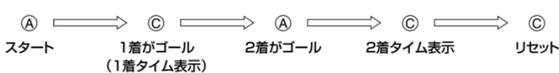


※ 積算計測... ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート (**Ⓐ** ボタンを押す) すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

### ●スプリットタイム (途中経過時間) の計測



### ●1・2 着同時計測



# 製品仕様

水晶発振周波数 : 32,768Hz

常温携帯精度 : 平均月差 ± 15 秒以内

基本機能 : 月・日・曜日・時・分・秒、午前 / 午後 (PM) / 24 時間制表示 (24H)、フルオートカレンダー (1995 ~ 2039 年)

ストップウォッチ機能 : 計測単位 = 1/100 秒 (00'00'00 ~ 59'59'99 のとき) 1 秒 (1:00'00 ~ 23:59'59 のとき) 計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) 計測機能 = 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2 着同時計測

タイマー機能 : 計測単位 = 1 秒 セット単位 = 1 秒 タイムアップを 10 秒間の電子音で報知

アラーム機能 : 時刻アラーム セット単位 = 月・日・時・分 電子音 = 20 秒間 時報 毎正時に 2 回電子音で報時

その他 : 自動復帰機能、12/24 時間制表示切り替え、EL (エレクトロルミネッセンス) バックライト

主要回路素子 : 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップ CMOS-LSI

使用電池 : CR-2016 (電池別途販売)

電池寿命 : 約 2 年 (1 日当たりライト 3.5 秒間、電子音 20 秒間使用した場合) ※ただし、EL バックライトの使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。  
● 1 日当たり EL バックライト 3.5 秒間を 5 回使用 : 約 16 ヶ月  
● 1 日当たり EL バックライト 3.5 秒間を 10 回使用 : 約 10 ヶ月